



19:16 バフリム出身のベニヤミン人、ゲラの子シムイは、ダビデ王を迎えようと、急いでユダの人々と一緒に下って来た。

19:17 彼は千人のベニヤミン人を連れていた。サウルの家のしもべツィバも、十五人の息子、二十人の召使いを連れて、王が見ている前でヨルダン川に駆けつけた。

19:18 そして、王の家族を渡らせるため、また王の目にかなうことをするために、渡しを整えた。ゲラの子シムイはヨルダン川を渡って行き、王の前に倒れ伏して、

19:19 王に言った。「わが君、どうか私の咎を罰しないでください。王様がエルサレムから出て行かれた日に、このしもべが犯した咎を、思い出さなくてください。王様、心に留めないでください。

19:20 このしもべは、自分が罪を犯したことを知っています。ご覧ください。今日、ヨセフのすべての家に先立って、わが君、王様を迎えに下って参りました。」

19:21 ツェルヤの子アビシヤイは口をはさんで言った。「シムイは、【主】に油注がれた方を呪ったので、そのために死に値するものではありませんか。」

19:22 ダビデは言った。「ツェルヤの息子たちよ。あれは私のことで、あなたがたに何の関わりがあるのか。あなたがたが、今日、私に敵対する者になろうとするとは。今日、イスラエルのうちで人が殺されてよいだろうか。私が今日イスラエルの王であることを、私が知らないとしてもいいのか。」

19:23 王はシムイに言った。「あなたは死ぬことはない。」王は彼にそう誓った。

19:24 サウルの孫メフィボシエテは、王を迎えに下って来た。彼は、王が出て行った日から無事に帰って来た日まで、自分の足の手入れもせず、ひげも剃らず、衣服も洗っていないかった。

19:25 彼が王を迎えにエルサレムから来たとき、王は彼に言った。「メフィボシエテよ、あなたはなぜ、私とともに来なかったのか。」

19:26 彼は言った。「わが君、王様。家来が私をたぶらかしたのです。このしもべは『ろばに鞍を置き、それに乗って、王と一緒に行こう』と言ったのです。しもべは足の萎えた者ですから。

19:27 彼がこのしもべのことを王様に中傷したのです。しかし、王様は神の使いのような方ですから、お気に召すようにしてください。

19:28 私の父の家の者はみな、王様から見れば、死刑に当たる者にすぎなかったのですが、あなたは、このしもべをあなたの食卓で食事をする者のうちに入れてくださいました。ですから、この私に、どうして重ねて王様に訴える権利があるでしょう。」

19:29 王は彼に言った。「あなたはなぜ、自分のことをまだ語るのか。私は決めている。あなたとツィバとで地所を分けるのだ。」

19:30 メフィボシエテは王に言った。「王様が無事に王宮に帰られた後なら、彼が全部取ってもかまいません。」

シムイはダビデを喜んで迎え入れますが、彼は「罰しないでください」と言っているように、ダビデがアブサロムから逃げていたときには、彼を呪ったのです。ダビデは「あれは私（個人）のこ

と」と、そこに私怨を働かせずに赦します。またメフィボシエテに関しては、ツィバが一方向的に彼を裏切り、ダビデをだましたにも関わらず、もともとメフィボシエテのものであった財産の半分を家来であるツィバに与えています。

私たちはこのようなダビデの寛容さと霊的衰えを見て、自分を省みるべきでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたその部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

